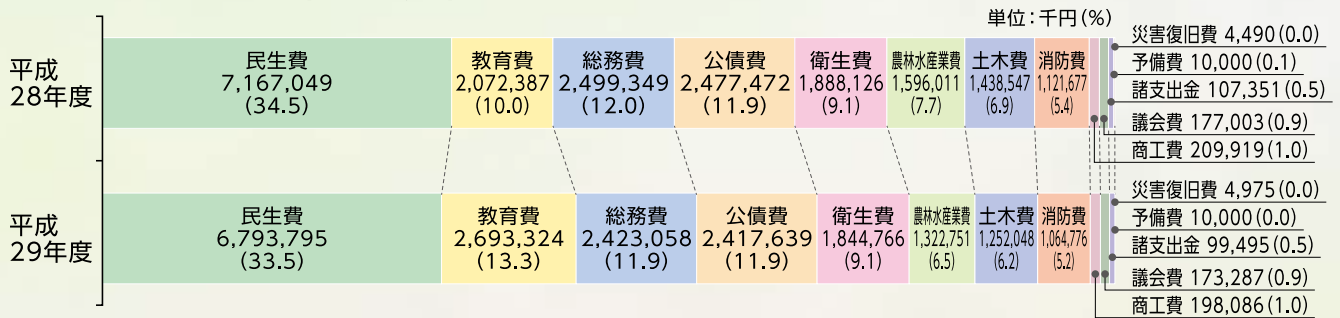


〈目的別歳出の状況(一般会計)〉



歳出を目的別に見ると、最も大きな割合を占めるのが、市民の皆さんが安心して暮らすための福祉の充実などに使われる民生費で、前年度に対し1.0ポイントの減で全体の33.5%を占めています。これは、臨時福祉給付金、年金生活者等支援臨時福祉給付金(高齢者向け給付金、障害・遺族年金受給者向け給付金)などの減によるものです。

次に多いのは教育費で全体の13.3%を占め、前年度に対し3.3ポイントの増となりましたが、顕娃地区統合中学校整備事業などの増によるものです。

以下は総務費、公債費、衛生費、農林水産業費、土木費、消防費の順となっています。

会計別の当初予算額

(単位: 千円、%)

区 分	平成29年度	平成28年度	比 較	
			増減額	増減率
一般会計	20,298,000	20,769,381	△ 471,381	△ 2.3
特別会計	12,935,700	13,033,700	△ 98,000	△ 0.8
国民健康保険事業特別会計	7,243,600	7,150,000	93,600	1.3
後期高齢者医療特別会計	560,200	548,300	11,900	2.2
介護保険事業特別会計	4,910,000	4,832,000	78,000	1.6
簡易水道事業特別会計	0	288,400	△ 288,400	△ 100.0
農業集落排水事業特別会計	77,400	76,500	900	1.2
公共下水道事業特別会計	144,500	138,500	6,000	4.3
水道事業会計	1,050,677	753,697	296,980	39.4
合 計	34,284,377	34,556,778	△ 272,401	△ 0.8

※平成29年度から簡易水道事業会計は、水道事業会計に統合されます。

平成29年度当初予算を市民1人当たりに換算すると・・・

市民1人当たりが負担する市税

総額 **94,791円**

※金額は、平成29年2月28日現在の住基人口(36,529人)で計算しています。(鉱産税、国有資産等所在市町村交付金は除く。)

市民1人当たりに使われるお金

総額 **555,668円**

※金額は、平成29年2月28日現在の住基人口(36,529人)で計算しています。



予算の特徴



南九州市では、「自然豊かで創造と活力に満ち くらしいのちが輝く ところ やすらぐまち」を目標として、南九州市総合計画に基づきまちづくりを進めています。ここでは、平成29年度の当初予算の特徴について紹介します。

市民が主役のまちづくり

自治会サポーター制度の導入

【ゼロ予算事業】

高齢化と過疎化が進行するなかで自立した自治会活動の展開のため、自治会と行政の協働による地域づくりを目指します。市内253自治会に自治会サポーターとして担当職員を配置し、自治会の課題解決を支援します。

合併10周年記念事業の実施

【789万円】

市制施行10周年（平成29年12月）を迎えることから、市政功労者の表彰を行う記念式典などを実施し、市民一同で10周年を祝います。
〈記念式典、フォトコンテスト、男女共同参画シンポジウムなどの開催〉

第2次総合計画の策定

【633万円】

平成30年度からの10年間の計画期間として、市民の声を反映した第2

次南九州市総合計画を策定します。

住みやすいまちづくり

子育ての環境づくり

【継続事業、一部新規事業180万円】

子ども・子育て環境の充実のため、引き続き乳幼児健康診査、放課後児童対策、一時預かり保育、延長保育、地域子育て支援センター、障害児保育事業などの施策を実施し、新たにファミリー・サポーター・センターの運営事業を実施します。

子ども医療制度の充実と出生祝い金の改善

【継続事業、一部事業拡充132万円】

子どもの健全な発育を支援するため、引き続き中学校卒業までの医療費助成を実施します。

出生祝い金は第1子からの支給制度へ改め、新たに祝品を贈呈



▲出生祝記念品 命名プレート

し、子どもの健やかな成長を応援します。

空家対策の促進

【継続事業、一部新規事業454万円】

空家バンク制度により空家情報を発信し、移住定住の促進を図ります。危険な老朽空家は適正管理のための支援（助成）を行い、生活環境の保全に努めます。

教育・文化施設などの充実

●公共施設の長寿命化と設備の充実に努めます。

- ・コミュニティセンター川辺文化会館 【6320万円】
 - ・ホール舞台吊物機構・諸幕取替改修工事の実施
 - ・知覧体育館 【5232万円】
 - ・耐震化のための工事の実施
 - ・知覧平和公園 【4355万円】
- 平成32年度国民体育大会開催に向けて陸上競技場、多目的球場の整備を実施

●平成31年4月開校に向けて新生「頤娃中学校」の施設の整備を進めます。

- ・新生「頤娃中学校」 【8億5849万円】
- ・校舎・屋内運動場などの整備を実施

ふるさと寄附金事業

寄附金の受入見込み

PR・返礼品などの充実

【1億円】

地域の特産品などを情報発信し、本市の魅力をPRすることで、寄附金の増額に努めます。

ふるさと寄附金を活用した事業

【2014万円】

寄附者の意向に応え、个性的で魅力あるまちづくりに役立てます。（平成29年度事業）

自治コミュニティ活動奨励金、出かい応援事業補助金、茶消費拡大特別対策事業補助金、鹿児島南部広域連携インバウンド観光・アウトバウンド物流構築事業負担金、川辺仏壇販路対策事業補助金、かわなべ青の俳句大会費、図書館図書・DVD購入、セカンドブックプレゼン、伝統的建造物群保存対策事業費



▲ふるさと寄附金の返礼品